

レジーム・スイッチング資産運用法を実装した基本システムの開発

開発者：石島博，森泰樹，谷山智彦

市場の見えざる状態を検出し，新たな投資機会の発見を目指して

【開発したソフトウェアの名称】



Regitz (レジッツと読む)

開発の目的

国産金融技術を駆使した資産運用システムの開発により、不透明感・不安感が覆う資産運用にイノベーションをもたらし、もって安心して迎えられる豊かな社会作りに貢献する。

Regitzの特徴

- ・ Web上で、誰もが、どこでも、手軽に金融工学を駆使した資産運用。
- ・ 市場の見えざる状態、「レジーム」を検出する。(レジームとは、好況/不況、ブル・ベアなどの状態。)
- ・ 既存の投資対象資産に対する、新たな投資機会の発見が可能に。
- ・ 最適成長性を保証する投資配分の決定が可能。

Regitzで出来ること

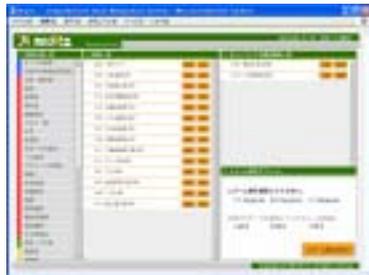
- ・ 将来において実現するレジーム = 経済シナリオに基づいて、以下のことが分かる。
 1. 株式市場全体の景気予報 (晴れ/曇り) → 「明日の日経平均株価は80%で晴れでしょう。」
 2. 個別銘柄の景気予報 (晴れ/曇り) → 「明日の 自動車の株価は、30%で晴れでしょう。」
 3. 成長性によるランキング (銘柄別、2つの銘柄の組み合わせ、レジーム有り/無しの場合)
 4. 投資資金の成長予測
 5. 目標金額への期待到達時間の算出 → 「100万円が150万円になるまでに、3.4年かかるでしょう。」

Regitzを構成するシステム

- ・ 資産運用における、制御・計測を汎用的に行うシステムAと、
- ・ システムAを補完し、銘柄選択の補助を行うシステムBに分けて開発。
- ・ システムAでは、スタンダード版とプロフェッショナル版により、異なるインターフェースを提供。

システムA

スタンダード版 (FLASH形式)

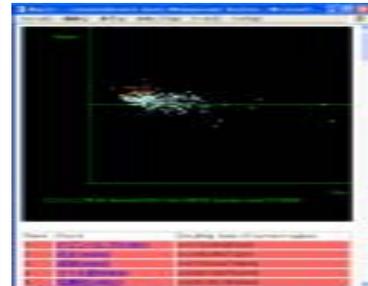
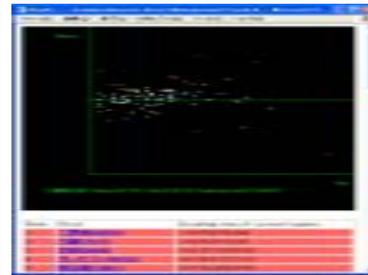


プロフェッショナル版 (HTML形式)



システムB

ランキング・システム (HTML形式)



時系列分析機能 (HTML/FLASH形式)

